

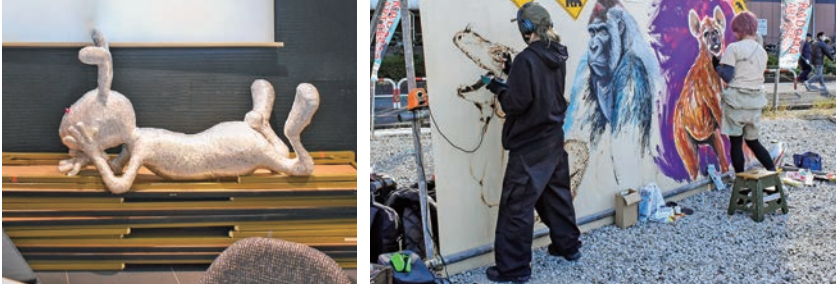
KADOMA PHOTO NEWS

子どもたちの未来につながる1コマに

11月25日、総合体育館とその周辺エリアで市制施行60周年記念事業「ミライのシゴトEXPO」を開催し、子どもの未来を応援するために31の企業・団体にご協力いただきました。当日は、延べ4318人の子どもたちが参加し、企業などが出展する「おしごと体験ブース」や「はたらく乗り物展示ブース」で、いろいろな職業に触れて楽しむ子どもたちの姿がありました。



まちに溶け込むアート作品



11月25日・26日、京阪大和田駅周辺で「KADOMA ART FES 2023」が開催されました。至るところにアート作品が並び非日常な空間に、行き交う人は思わずパシャリ。イベント会場ではライブペイントやヒーローショーなどが行われ、大いににぎわいました。

門真市出身のJリーガー トップチームでの活躍に期待



門真市出身の本間ジャスティン選手が、2024シーズンのヴィッセル神戸トップチームへの昇格を内定させました。今後の活躍を期待し、みんなで本間選手を応援しましょう！
◆本間ジャスティン選手
市立速見小学校・門真はすはな中学校を卒業。幼少期にサッカーを始め、門真北風サッカークラブ、ガンバ大阪門真ジュニアユースからヴィッセル神戸U-18へ。ポジションはサイドバックで、持ち味は50mを6秒以下で走る俊足。

蓬菜さんと学ぶ 自助防災への第一歩



11月22日、ルミエールホールで、気象予報士で防災士の蓬菜大介さんによるかどま大学特別講座「異常気象多発時代にどう暮らす」が開講されました。講座ではゲリラ豪雨や猛暑が多発する気象情勢に、暮らしの中で対処する方法を解説。蓬菜さんは「防災マップに目を通すことが防災の第一歩」と言い、アプリなどを活用して情報収集することの大切さを熱弁されました。



11月16日、国際参加者会議2023年秋に出席したタンザニア、ザンビア、ジャマイカなどの万博担当者らが、「いのち輝く折り鶴JAPANパビリオン」を訪れ、高齢者と折り鶴を通じて交流しました。このパビリオンは「認知症になっても輝けるまち」をめざして活動する市民団体、ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会が10月に開設したものです。総合プロデューサーの森安美さんは「言葉や立場の違いを越えて、人と人が繋がる喜び、楽しさをみんなが実感できる機会となりました」と語りました。

がんばりました



3年連続世界大会入賞
第30回世界年齢別トランポリン競技大会
13-14男子個人 3位
かみやま かつうが
神山空篤さん
(門真はすはな中学校3年生)
今回で3回目の世界大会。悔しい結果でしたが頑張りました。もっと練習して上をめざします！



優勝 紫式部楽園
第23回 全日本シニア軟式野球選手権大会 2023年10月16日 倉敷運動公園野球場
優勝 2年連続の日本一
紫式部楽園

全国少年少女レスリング選手権大会
小学4年生女子の部36kg級 2位
第27回わんぱく相撲大会大阪府決勝大会
4年生女子の部 大関(2位)
第4回わんぱく相撲女子全国大会
小学4年生の部 出場



たけやま りな
竹山未琴さん
(北栗本小学校4年生)
去年3位で今年こそ優勝したいと練習を頑張りましたが、決勝戦で負けてとても悔しかったです。来年は必ず金メダルを取ります！